



東京バプテスト神学校 後援会

No.38

NEWS

Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ seminary@tbts.jp

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141
発行日：2025年1月30日 発行者：東京バプテスト神学校後援会 秋山 信夫

巻頭言

「東バプファン」になりましょう!

しの まつ じ ろう
篠 松次郎



(東京地方連合会長・常盤台バプテスト教会)

昨年はドジャースの大谷翔平選手が大活躍をし、ついにドジャースがワールドシリーズを制覇しました。そのドジャースを支えたのは、ドジャースの熱狂的なファンでした。ドジャースファンはいつもドジャースのことを考え、野球場や家庭等で声援を送り、またグッズを買って応援していました。

今回、後援会の秋山会長から後援会ニュースで「神学校をどのように支えていったらよいか」というテーマで巻頭言をお願いしますとの依頼を受け、皆が東京バプテスト神学校（以下「東バプ」）のファンになったら、支えていくことが出来るのではないかと思います。具体的には次の5つのステップ、1 東バプのことを良く知り、2 東バプに関心を持ち、3 後援会に入り、4 受講生になって、5 東バプのことを広く皆に知らせる、ということを考え、以下詳細をお話します。まず第1の「東バプのことを良く知る」については、まずはホームページ（以下「HP」）をみましょう。HPには東バプの

沿革や学校案内、動画による紹介、講座案内、過去の神学校ニュース、後援会ニュース、後援会の案内、通信生のページ、図書検索等、細かく掲載されています。HPを読むことで東バプの理解が深まります。第2の「東バプに関心」については、例えば、HP動画で授業の様子を見たり、過去のニュースレター記事で卒業生や色々な方のお話を読んだり、受講してみたい公開講座があったりと関心が高まってきます。第3の「後援会に入り」については、HPに「後援会オンライン月々支援（月々500円から支援ができます!）」というコーナーがありますので、そこをクリックすると簡単に会員登録ができます。私は昨年秋に加入しましたが、毎月自動的に献金されますので、「いつも東バプと繋がっている」という実感があり、定期的にニュースレター等が送られてきます。更に受講料減額のメリットがあります!第4の「受講生になってみましょう」については、私自身、今年度は、前期は小林洋一先生の旧約聖書「箴言

を説教する」、後期は小海基先生の「共に生きる生活」（共に読み、語り合うボンヘッファーとバルトの言葉）を受講しています。仕事の関係でライブ受講ではありませんが、自分の時間でビデオ通信で受講をしています。第5の「東バプのことを皆に知らせましょう」については、是非、「神学校奨励奉仕の方が神学校の広告担当」となって、献金に加えて、公開講座の案内やニュースレターの話をお話してください。

常盤台教会では礼拝の報告の時間に「公開講座の案内」をしました。すると多くの方から問い合わせがあり、それによって何名かの方が参加しました。皆さんも後援会に入会し「東バプファン」になりましょう!後援会入会により、神学校が身近な存在になり、様々なジャンルの講座により私たちクリスチャンにとって大切な「学び」の充実にもつながっていきます。皆様のご入会をお待ちしています。

500円からご支援できます! 後援会の会費が **月々500円から** ご支援いただけるようになりました。



ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。

スマホやタブレットからお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

▲ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)





「先立つ主に導かれて」

やの ゆみ
矢野 由美

(千葉バプテスト教会)

東京バプテスト神学校後援会のお働きを感謝いたします。

献身者、生涯教育の場として、学ぶ人々に開かれている神学校の存在に感謝いたします。

卒業生の証の依頼を受けましたので、神学生時代、牧会生活の歩みを振り返ってみました。

私が神学校で学び始めたのは、かつて新宿にあった連盟事務所隣りのレジデンスに引っ越した時でした。信徒リーダーコース聴講に始まり、代々木上原、恵泉教会の二階、茗荷谷教会内と移動した神学校教室全て懐かしい学び舎です。そこには献身的に熱心に導いてくださった神学校教師、共に学び合う仲間、存在、教会、家庭の協力と励ましがありません。1999年3月東京バプテスト神学校教会教育専攻科を卒業しました。卒業後、神さまは二つの教会で教役者、教会員としての歩みを導いてくださいました。

2002年、菊池シオンキリスト教会牧師に就任した夫（牧師）と共に、教育主事に就任。伝道所から教会組織、日本バプテスト連盟加盟、更に南九州地方連合加盟と続き、バプテスト連盟の一員として迎え入れられ、協力伝道の仲間として歩み出した節目の年でした。教会内では、バプテスト教会形成の学び、教会学校の充実、誰もが喜んで参加する、対話が弾むクラス作りを目指しました。新たに始めたのが、もう一つの土曜日の教会学校「子ろば会」です。丁度全国の小中学校が週休二日制を導入した頃でした。近隣へ定期的にチラシを配り、子どもたちと作成した看板を目立つ通学路に設置すると、固定メンバーも定

着し、子どもたちは教会の様々なプログラム参加へと導かれました。教会主催のバザー、クリスマス、音楽集会など、殆ど教会の扉を開いたことのないご家族、地域の方々の参加と協力が加えられたことも嬉しい変化でした。毎朝の早天祈禱会、み言葉の前でみ言葉に養われた約十年の歩みは、主からいただいた豊かな恵みの時でした。

2011年11月、夫と共に千葉教会に赴任しました。まず感じたのが地域性の違いです。徒歩や自転車で通う教会員が少なく、遠距離から車で集う方々が大半でした。課題を確認し教会として取り組んだことがあります。礼拝について全体で時間をかけて学び、二年がかりで行った礼拝、教会学校プログラムの改定。教会学校の時間帯、礼拝プログラムの意味や位置づけなど、試行しながらも現在の教会に求められる相応しい形を模索しました。毎年教会学校のクラス編成について話し合い、より良い方向性を求めて協議。教会墓地、駐車場の不足等々様々な課題についての五か年計画の取り組み等々。しかし、数年の間に教会員の病、召天が続きました。それに続くようにして、千葉教会就任4年目

牧師（夫）も重病を発症し、闘病を抱えながらの牧会生活が始まったのです。すぐに教会員の熱い祈りの輪ができ、教会活動も滞りなく継続することができました。有り難かったのは、連盟、連合、神学校の応援を得て、毎週の礼拝も途切れることなく守られたことです。振り返ると、緊張の連続でしたが、いつも先立ち導いてくださる存在を身近に感じる日々、そして連盟、連合の協力伝道の豊かさを再確認させられた時でした。神さまは、牧師を天に見送った教会に、相応しい新しい牧師を招いてくださいました。私も協力牧師として5年間共に歩ませていただきました。先立つ主の導きに感謝するばかりです。

2024年3月末、千葉教会協力牧師の働きを退くことになりました。働きの違いはあっても主の憐れみとお導きの中で歩んでいきたいと願っています。

「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。」

詩編121：1—2



2024.3.31 協力牧師最後の主日礼拝後

あくびを賛美に変えてくださる神様

いながき くみこ
稲垣 久美子

(日本バプテスト同盟横浜南キリスト教会)

土曜日の午前11時30分、合唱の授業がスタートします。

お祈りの後、山中臨在先生が「発声練習です。『あくびの歌』を歌いましょう。」と言うとき、わたしはいつも心の中でガッツポーズです。なぜなら一週間分のあくびがたまっていて、意識しなくても笑顔で上手に歌えるからです。喉の力も自然に抜けて、1時間の練習があっという間に過ぎていきます。練習前には疲れていた心と体が、練習後には力と喜びに満たされているのを感じます。



私にとって、信仰生活と賛美することとはきってもきれない関係です。

しかし、コロナ禍において、礼拝では賛美することに制限があり、ここ数年は正直言ってさみしく、物足りなさを感じていました。もうそろそろ次のステップへ進みたいーそう考えていたとき、2023年の3月に神学校で学ばれていた末永美奈子さんを通して神学校の合唱の授業が公開講座であることを知りました。そこで、夫と相談をして、2023年の4月からこの講座を受講することにしました。授業を通して神様を賛美することを久しぶりに生活の中に取り戻すことができました。私は歌を通して神様のみ言葉に触れ、恵みをいただいています。そして、神様からの呼びかけへの応答を自覚的に実践することの喜びが戻ってきたように感じています。

今学期取り組んでいる曲は5曲です。それぞれの曲想や歌詞は多様ですが、主の恵みがぎゅっとつまった曲ばかりです。毎学期、発表会や演奏会を聞きに来てくださった方の中から受講生になってくださる方々が与えられることもこの上ない喜びです。みなさんもあくびが賛美に変えられていく特別な1時間を是非体験してみませんか。

学び続けることの喜び

つね ひろ すみこ
常廣 澄子

(志村バプテスト教会)

神学校を卒業した後、教会での福音伝道の働きに仕えていますが、神学校が開講している公開講座のおかげで、私は今も学び続けられていることを心から感謝しています。神学校では、誰でも自由に学べるようにと、毎年公開講座の授業を企画してくださっていますし、夏



期冬期の公開講座では、時宜を得たテーマや課題を集中して学ぶことができます。

2024年度後期の公開講座では、私は小海基先生担当の「共に生きる生活—共に読み、語り合うボンヘッファーとバルトの言葉—」を通信で受講しています。テキストの本を読み、講義を聞く時間をとるのはなかなか大変ですが、素晴らしい講義を聞くことを通して、豊かな学びができることは大きな喜びです。また講義で語られるみ言葉や、受講生お一人おひとりの信仰者としてのお話や語りかけから大きな励みや励ましを受けています。

東京バプテスト神学校は「みんなの神学校を目指して」います。教役者を目指す方々だけでなく、信徒が誰でも自由に学び合っ、主にある働き人として成長していく神学校です。誰でもいつからでも学べる機会を提供して下さる東京バプテスト神学校の益々の発展を心から祈り応援しています。

牧師のメンタルヘルス

ます だ えい いち
舛田 栄一

(釧路キリスト教会)

2024年11月、息子の結婚式のため横浜に向かいました。孫の顔を見る嬉しい時、両家顔合わせの大切な時、しかし横浜に向かう心が重く消耗している自分に気がきました。披露宴でスピーチを考えていたら、「お父さん、お食事を楽しんでくださいね」と冷やかされる始末。「鬱の影」が忍び寄っています。

釧路教会は、礼拝と祈禱会のほか、厚岸、弟子屈で地区礼拝を開催、「わかちあい釧路」による食料の無料配布、英語礼拝を行っており、毎週準備のため休日返上で走ってきました。本当は休みたい、しかし準備が間に合わない。そんな牧師の疲れが垣間見えた結婚式でした。しかし、主は生きて働かれるお方です！ハレルヤ！！



弟子屈 野外礼拝の様子
(川湯ビレッジ)

結婚の祝福と喜びの中、また小さな子供(孫)たちの愛らしい姿により、家族に赦しと和解の糸口を主は備えてくださいました。

「主の賜いし十字架を担いざれず沈む時 数えてみよ主の恵み♪」を口ずさみつつ、帰りの機中で主の恵みを数えます。それは決して少なくありません。釧路教会で牧師として働けること、宣教師一家がえられること、大きな主の恵みです。そして牧師自身が「主の福音」を喜び楽しむこと、これこそ大切と思う昨今です。釧路教会の牧師と、東北道の宣教の働きを覚えてお祈りください。

祈りで支えていく

はやし けんいち

林 健一

(大泉バプテスト教会)

大泉バプテスト教会では、壮年会を中心に神学校献金に取り組んでいます。神学校週間には壮年会が礼拝の中で神学校週間の意義や献身者が起こされるように祈りと献金を呼びかけています。コロナ前には毎月一回、昼食(カレー)を壮年会が提供して神学校の献金を募っていました。前日から仕込んだカレーは美味しいと評判で教会の皆さんは楽しみにしていたようです。壮年会のメンバーも高齢化して奉仕する人が少なくなりました。厳しい状況ですが神学校を

おぼえてもらう大切な機会として、壮年会以外の皆さんにも協力していただいて昼食を再開することができました。これも恵みだと喜んでいきます。

教会では、独自に東京バプテスト神学校(以下「東バブ」)会計を作って献金を募っています。以前は神学校会計としてまとめていたようです。東バブをおぼえ献げていこうと別会計にして献金を皆さんにお願いすることにしました。そのことで東バブに対する意識も変わったように思います。東バブが近くになった

(以前も近かったですが…)、教会の皆さんが東バブをおぼえて献金して下さるようになりました。

また、大泉教会は神学校の学生主任として私(林健一)を送り出してくださっています。これまで教会は松村誠一先生、木村一充先生を神学校の働きに送り出してくださいました。神学校に仕える働きは祈りなくしてできないものです。教会の祈りが必要です。神学校を祈りで支えていくことを継続していきたいと願っています。

2024年度4月～11月 後援会献金報告

● 後援会献金(個人)…………… 122名・146件 合計1,856,200円(前年度963,698円)

岩瀬礼 吉田壽宏 伊藤世里江 作田公重 大野優子 青木節子 鴻野清美 藤原俊子 深澤和子 稲垣久美子 大江満知子 十時節子(2)
 稲垣誠 島田洋子 澁谷和美 鳥飼好男 日裏綾子 松村誠一 芦沼光雄 佐々公子 神山武 藤井あや子 井伊肇 岸田梢 押美香子
 保里昌彦 青木周一 五島裕紀子 村上真由美 木村まどか 山口慎子 林健一 浅野陽子 岡村直子 加藤徹 田場上 壱岐基子
 奥谷恭子 渡辺禎子 松田美奈子 青山祐一 熊澤コト 藤田尚子 門田友也 田中牧子 四津明美 岡田利男 森下ひろみ 高柳美枝子
 奥田厚子 山崎清美 川勝高宏 福本綾子(3) 鮫島泰子 宮西日出子 文廷翼 角田芳子 角田秀明 渡部富夫 富田直美 石垣茂夫
 古根村聖子 鶴野博子 山田伊智郎 川平朝清 勝俣昌也 秋山信夫・純子 吉原正子 鶴ヶ谷芳昭 小勝琢生(2) 熊谷真吾 富田直美
 上原克也 安原信彦 中澤なつみ 生明伊世子(20) 岡田富美子 山寄美奈 木原道雄 水畑美奈子 沼尾有紀子(2) 藤澤鈴子 小林花穂
 岡村伸一 宮下めぐみ 小林曜 竹内正幸 若林一枝 保木はるみ 城倉由布子 辻真理子 清岡道子 山田洋子 大下仁 池内淳 坂本献
 飯田みか 梶原博文 守屋まゆ美 鈴木恵子 大矢公子 柴野一紗 パク・ジファン 山本久仁子 常廣澄子 梶原純一 前村俊一
 上野仁美 樋口紀 山田三千江 芦澤邦明 松田朝子 白井由季子 縣洋一 西方泉 伊藤典子 斎藤美津栄 豊永義典 山川許子
 今給黎真弓 北野弘子 岡田千尋

● 後援会オンライン月々支援…………… 40名

小牧由香 村上千代 林雄植 奥田稔 蛭川潤子 美園和彦 城倉啓 秋山信夫 山本恵子 藤井秀一 小川紀良 岡村直子 白井愛子
 中根浄 松田俊介 高地輝夫 篠松次郎 山岸明 加山彰一 加山礼子 上原一晃 鈴木早苗 諏訪泰子 石井規之 田中宣之
 渡辺朋美 川勝高宏 上田みずほ 松田健太郎 足立智幸 舩田栄一 小林亜矢子 新井朋美 井馬佐紀子 大須賀真人 勝俣昌也
 酒井和恵 鬼澤寛 菅井善一 村松理恵子

● 2024年度4月～11月 教会・集会献金実績 …… ※詳細は神学校ニュース2025年5月号に掲載します。

…………… 46件 合計 1,583,714円(前年度1,912,465円)

東京バプテスト神学校の働きを支援するために、あなたも「後援会」にご入会ください

1. 定期支援

個人会員：年額1口 ¥5,000 何口でも歓迎いたします
 ※後援会に入会すると受講料が半額になります(年会費は1年間有効)。

2. 自由献金支援

支援額も、支援回数もご自由にお決めください。

郵便振替口座

00210-8-75658

東京バプテスト神学校後援会

※専用払込票をご希望の方は、メールにてお申込下さい。